

講師: (株)アクロス・ザ・ドア建築研究所

主宰 鳴沢 晴美

講演タイトル:

(仮題)イタリアにおける歴史的建築物の保存と再生

講演趣旨:

世界遺産登録数世界一を誇り、古代ローマ時代から既にインフラが整備され、都市計画が存在していたイタリア。そこで使用されていたのが現在のコンクリートのもとになる古代コンクリートであった。古代コンクリートの特性及びその組み立て方法などコンクリート技術を実例とともに紹介しながら、歴史的建築物が現在社会の中で直面する課題にも言及する。歴史と現在のクロスオーバーするイタリアにおいて、その維持保全にあたってどのように法的整備や技術的改修などの適合化が図られてきたか、また経済社会との対応という課題に取り組んできたのかを通して、素材を生かす総合的なあり方を探る。

プロフィール:

東京造形大学卒業、清水建設本社設計部を経て、現在株式会社アクロス・ザ・ドア建築研究所共同主宰。

ロータリー財団によりローマ大学建築学部留学、フランス政府研究給費によりル・コルビュジェ財団パリ研究留学。

関東学院大学非常勤講師、イタリアトリノ工科大学で講義。イタリア建築新聞「ILGIORNALE DELL'ARCHITETTURA」記者。

